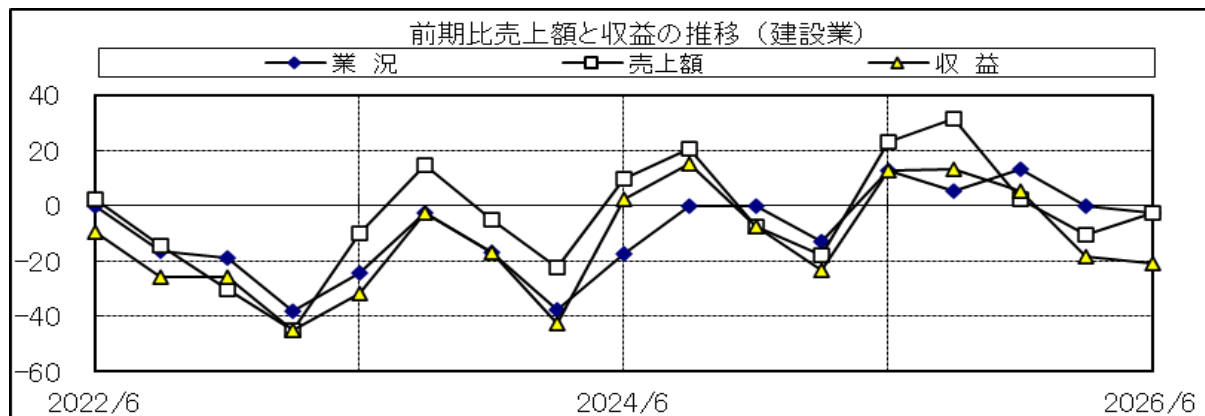


建設業 38 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	13.2	0.0	-2.6	2.6
売上額	2.6	-10.5	-2.6	13.2
収 益	5.3	-18.4	-21.1	-5.3

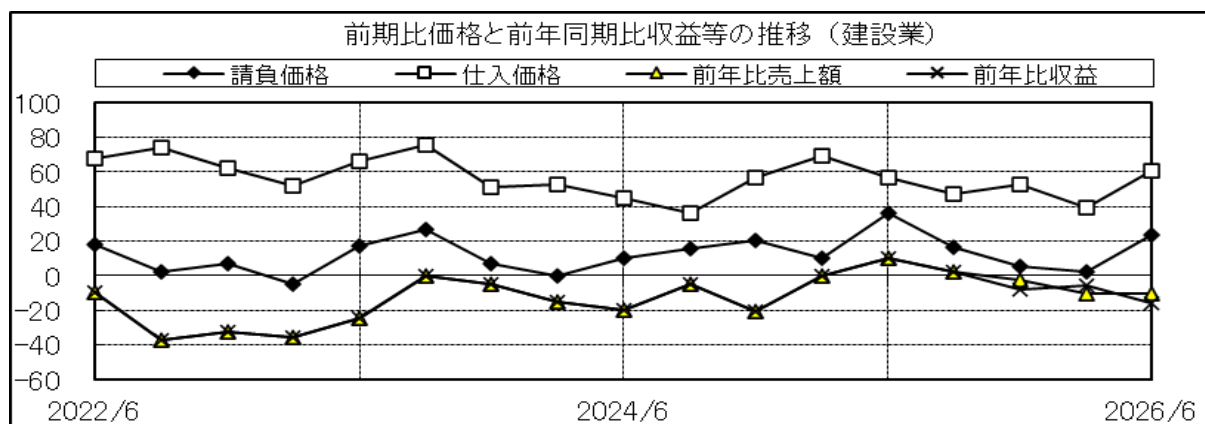
今期の業況判断 D. I. は△2.6 で、前期比 2.6 ポイント下降、前年(12.8)比で 15.4 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、様似が最も高く、次にえりも、同率で浦河・三石、広尾と続き、静内が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△2.6 で、前期比 7.9 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△21.1 で、前期比 2.7 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	5.3	2.6	23.7	13.2
仕入価格	52.6	39.5	60.5	55.3

請負価格判断 D. I. は 23.7 で、前期比 21.1 ポイント上昇、前年(35.9)比で 12.2 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 60.5 で、前期比 21.0 ポイント上昇。前年(53.8)比で 6.7 ポイント上昇した。



□

□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	-5.3	-13.2	-7.9	0.0
人手状況	-42.1	-42.1	-47.4	-55.3

残業時間判断 D. I. は△7.9 で、前期比 5.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△47.4 で、前期比 5.3 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

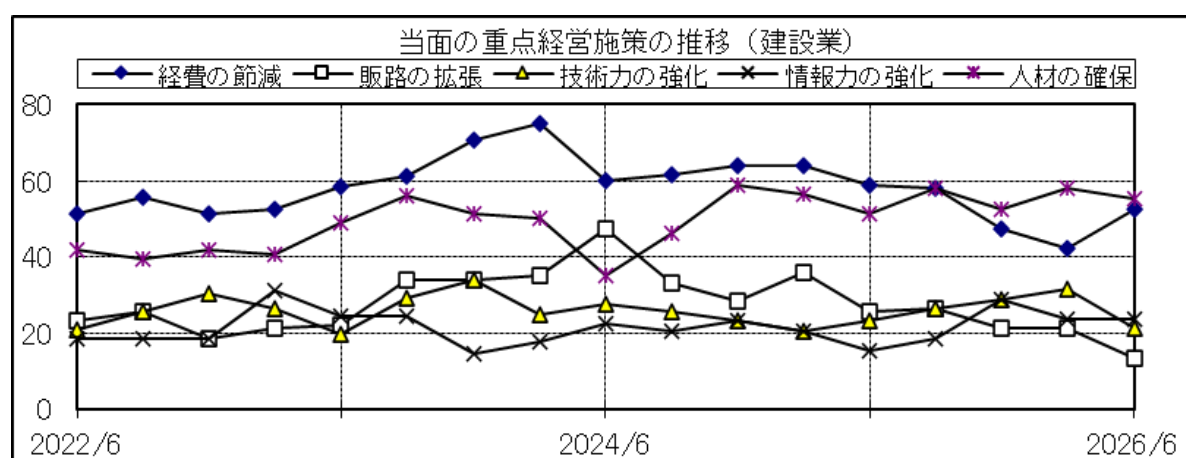
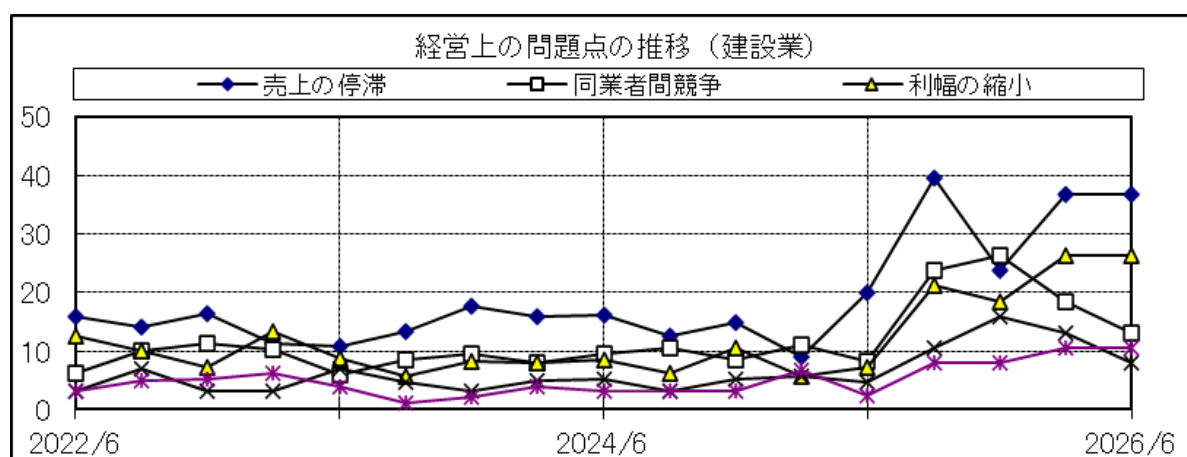
設備投資の充足感を示すD.I.は△7.9で、前期(△2.6)比5.3ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は21.1で、前期(15.8)比5.3ポイント上昇した。設備投資は、前期6社に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が63.2%と最も多く、次に「人出不足」39.5%、「売上停滞減少」36.8%、「利幅縮小」26.3%、「同業者競合」13.2%、「諸経費増加」・「地場産業衰退」が10.5%、「下請確保難」・「人件費増加」が7.9%、「大手企業競合」5.3%、「技術力不足」2.6%となっている。

重点経営施策では、「人材確保」が55.3%と最も多く、次に「経費節減」が52.6%、「情報力強化」23.7%、「技術力強化」21.1%、「販路拡大」13.2%、「新工法導入」・「労働条件改善」が7.9%、「不動産有効活用」5.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は2.6と、今期比5.2ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は13.2と、今期比15.8ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△5.3と、今期比15.8ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D.I.は13.2と、今期比10.5ポイントの下降を見通している。

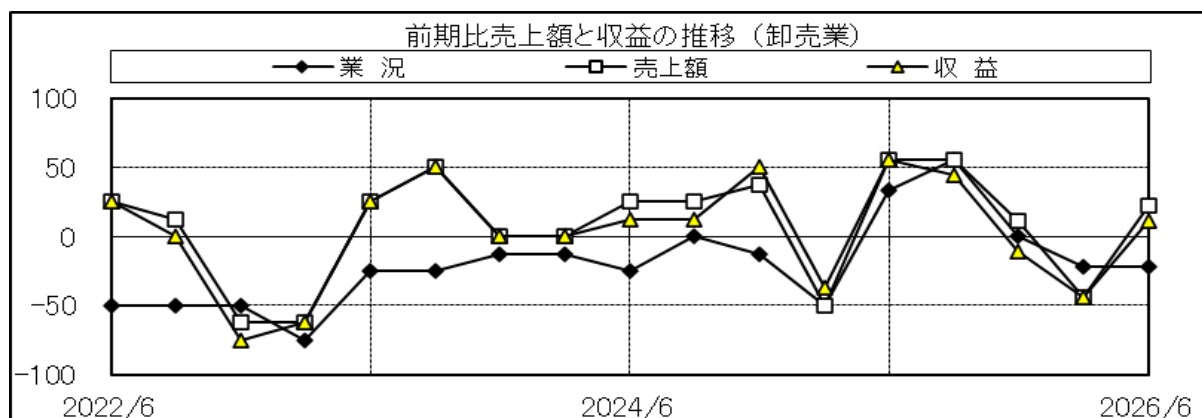
予想仕入価格判断D.I.は55.3と、今期比5.2ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 9 企 業 (回 答 率 100.0%) の 調 査 結 果 で す

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	0.0	-22.2	-22.2	-22.2
売上額	11.1	-44.4	22.2	22.2
収 益	-11.1	-44.4	11.1	11.1

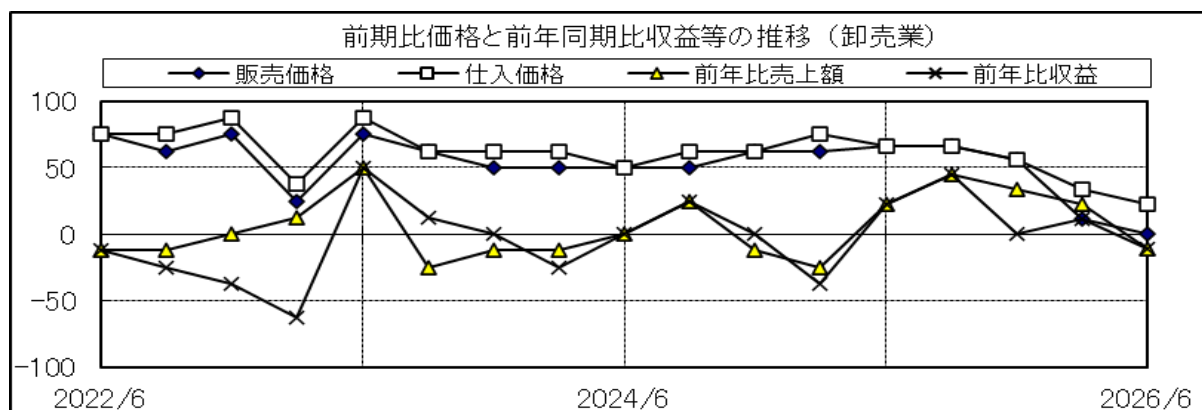
今期の業況判断 D. I. は△22.2 で、前期と同水準となり、前年(33.3)比で 55.5 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は、様似地区が上昇、浦河、三石地区は横這い、静内地区は下降となった。売上額判断 D. I. は 22.2 で、前期比 66.6 ポイント上昇。収益判断 D. I. は 11.1 で、前期比 55.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
販売価格	55.6	11.1	0.0	44.4
仕入価格	55.6	33.3	22.2	44.4

販売価格判断 D. I. は 0.0 で、前期比 11.1 ポイント下降。前年(66.7)比では 66.7 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 22.2 で、前期比 11.1 ポイント下降。前年(66.7)比では 44.5 ポイント下降した。業種別では、水産業、食品業の販売価格、仕入価格はともに横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	11.1	0.0	0.0	-11.1
人手状況	-33.3	-44.4	-33.3	-44.4

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変動はなかった。

人手過不足判断 D. I. は△33.3 で、前期比 11.1 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

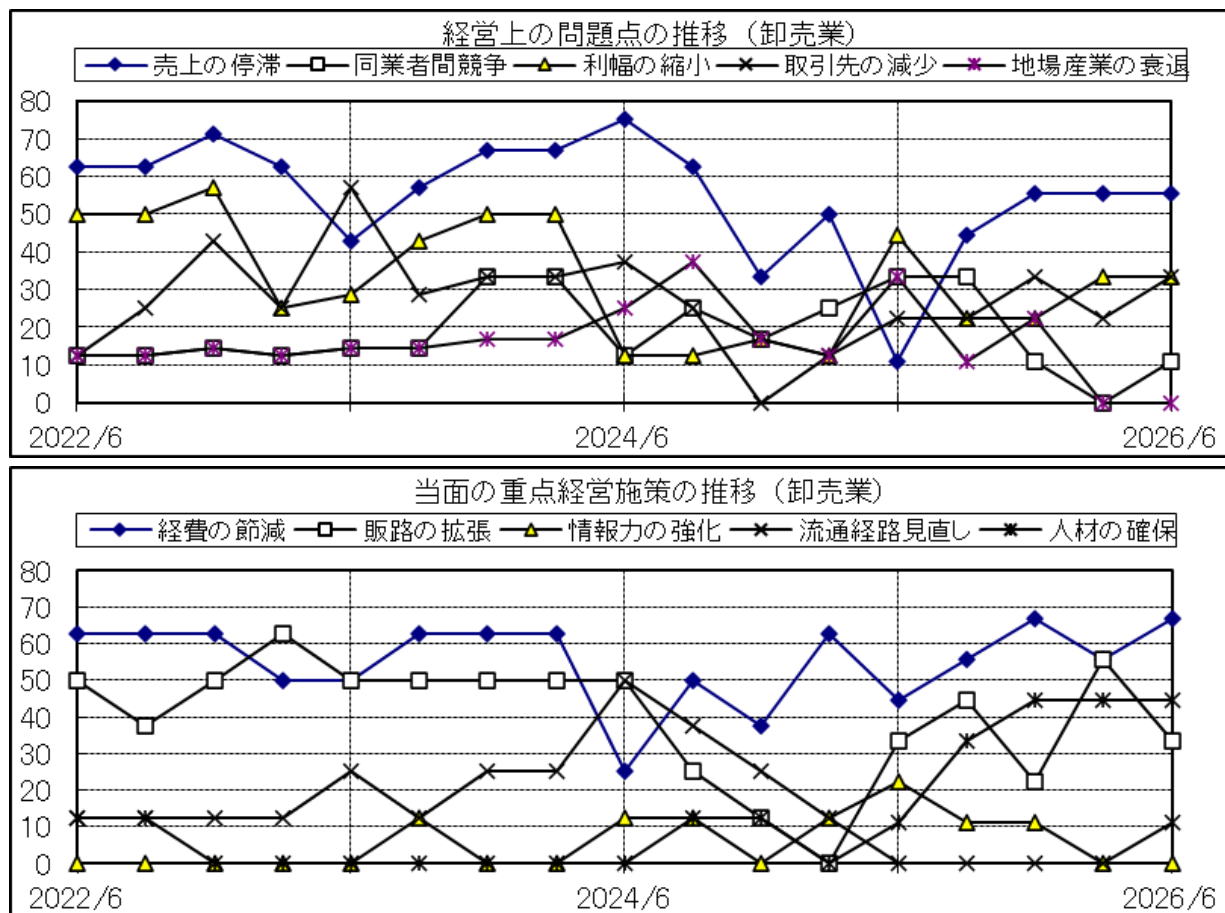
設備投資の充足感を示す D. I. は△22.2 で、前期(△11.1)比 11.1 ポイント下降した。

設備実施企業割合は 11.1 で、前期(44.4)比 33.3 ポイント下降した。設備投資は、前期 4 社に対し、1 社の実施となった。来期の設備投資は、1 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が55.6%と最も多く、次に「人手不足」が44.4%、「利幅縮小」・「販売商品不足」・「取引先減少」が33.3%、「為替レート変動」22.2%、「同業者競合」11.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が66.7%と最も多く、次に「人材確保」44.4%、「販路拡大」33.3%、「流通経路見直し」・「輸入品取扱」が11.1%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△22.2 と、今期と同水準を見通している。

予想売上額判断 D. I. は 22.2 と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断 D. I. は 11.1 と、今期と同水準を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 44.4 と、今期比 44.4 ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断 D. I. は 44.4 と、今期比 22.2 ポイントの上昇を見通している。